令和7年度環境保全報告書

三ツ星ベルト株式会社

神戸本社・事業所

Ⅰ．当該年度の重点取組目標・計画の実施状況

1. 地球温暖化対策【温室効果ガスの抑制】

当社神戸本社・事業所では、CO_2排出量については『２０２５年度には２０１３年度比９０％以上の削減』を目標に取り組みました。

２０２５年度の実績は下表に示すとおりです。

再生可能エネルギー電力の継続使用及び事業所整備による燃料使用の効率化を行った結果、２０１３年度比９８％の削減となり目標を達成できました。

一方で生産活動は２０１３年度より約７％減少しましたが、原単位で見ても２０１３年度比で大きく改善することができました。

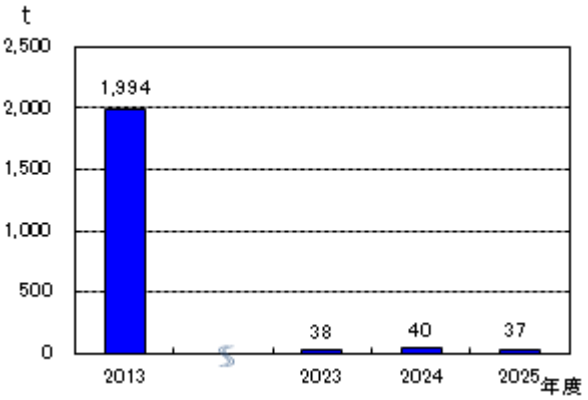
神戸本社・事業所の主な活動は、設計、開発、研究、新工法開発等の主要部分を担っており、エネルギーの使用量は更に増加する見込みですが、太陽光発電システムに加え、再生可能エネルギー由来の電力の使用を継続、設備等の効率的な稼働の推進により、CO_2排出量の削減及びCO_2排出量原単位の改善に努めてまいります。

本社・事業所 CO_2 排出状況

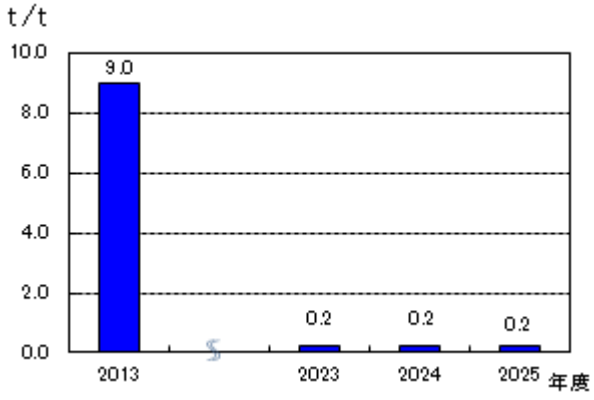
項目		2013 年度 (基準年度)	2023 年度	2024 年度	2025 年度
製造量（資材使用量） (t)		221	235	228	205
CO_2 排出量	ボイラー (t)	125	38	40	37
	廃棄物焼却 (t)	0	0	0	0
	廃水処理 (t)	0	0	0	0
	電力購入 (t)	1,869	0(※)	0(※)	0(※)
	合計 (t)	1,994	38	40	37
CO_2 排出量原単位 (t/t)		9.0	0.2	0.2	0.2

(※): 2022 年 10 月度より、再生可能エネルギー由来の電力に切り替えたため、
以降の CO_2 排出量は実質”ゼロ”となります

本社・事業所 CO_2 排出量の推移



本社・事業所 CO_2 排出量原単位の推移



２．省エネルギーの推進

燃料、電力、用水の総量は、いずれも２０２４年度に比べ減少しました。原単位で見ると、燃料は増加、電力は横ばい、用水は減少の結果となりました。

いずれの項目についても、工程の見直し及びシステム的な管理へシフト、社員の節減意識を向上させることで減少させました。

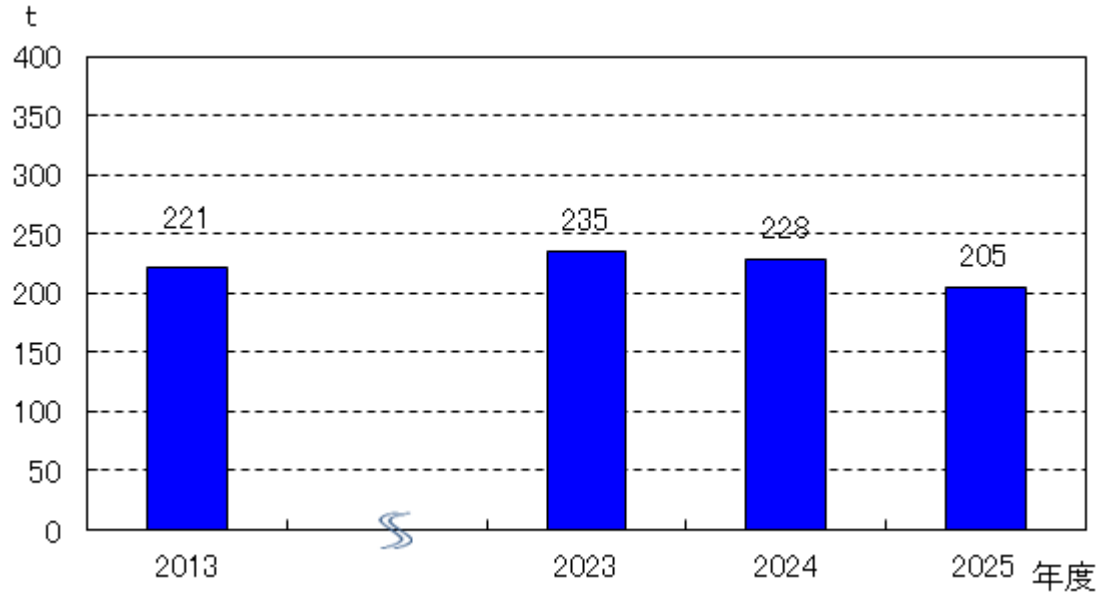
各原単位は、生産以外の活動（設計、開発、研究、新工法開発等）の推進により大きく影響を受けました。

今後も種々の施策を講じながら、燃料、電力、用水の使用量の削減と原単位の改善に努めます。

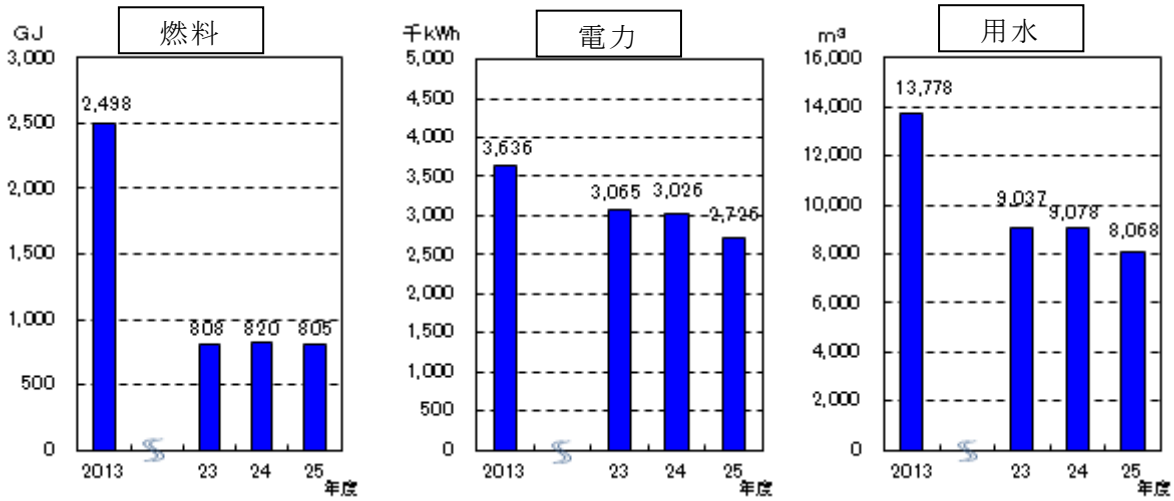
エネルギー使用量・原単位

項目		2013 年度（基準年度）	2023 年度	2024 年度	2025 年度
製造量	資材使用量　（t）	221	235	228	205
燃　料	総　量　（GJ）	2,498	808	820	805
	原単位　（GJ/t）	11.3	3.4	3.6	3.9
電　力	総　量　（千 kWh）	3,636	3,065	3,026	2,726
	原単位　（千 kWh/t）	16.5	13.0	13.3	13.3
用　水	総　量　（㎥）	13,778	9,037	9,078	8,068
	原単位　（㎥/t）	62.3	38.5	39.8	39.4

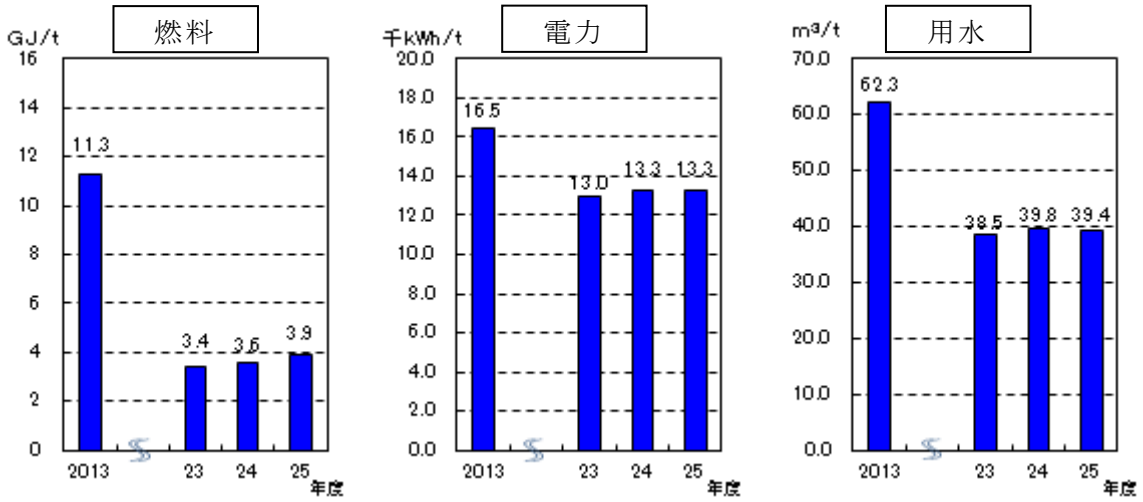
製造量（資材使用量）の推移



使用量の推移



原単位の推移



Ⅱ．公害防止対策に係る報告

１．目標達成状況と目標達成のために講じた措置・対策

目標項目		目標達成状況	目標達成のために講じた措置・対策
大気汚染防止対策	ばい煙(ばいじん、窒素酸化物等)、有害大気汚染物質の排出量削減	燃料使用量が前年度比で減少しており、目標達成できました。	◆不要部分への蒸気供給を削減しました。 ◆試作等の効率的な計画・実施に努めました。
	ばい煙の排出規制の遵守	計画に従い、ばいじん、窒素酸化物を異常発生させることなく稼動することができました。	◆排出ガス施設の日常点検実施に努めました。
水質汚濁防止対策	（公共用水域に排出する場合）		
	排出水の水質管理	計画に従い、排出水を測定し、管理目標値を満足できました。	◆排水処理施設の適正な維持管理に努めました。

２．2025 年度　排出水の汚濁状態測定結果

排水口名　：　排水口１

項目			管理目標値	測定値 最大 (pH のみ 最小～最大)	測定値 平均	全測定回数	目標値を超過した測定回数	目標値達成判定	法令基準達成判定
法令排水基準（有害物質項目）設定項目	1	n-ヘキサン	4.0 mg/L 以下	0.5(ＮＤ)	0.50	12	0	○	○
法令排水基準（生活環境項目）設定項目	2	水素イオン濃度(pH)	6.0～9.0	5.98～8.77	7.162	238	0(※)	○	○
	3	排水温度	45℃未満	41.8	28.13	238	0	○	○

測定値の単位：　１．mg/L（ＮＤ：定量下限値以下），２．なし，３．℃
判定：　○達成，×未達成
(※)：　pH 最小値=5.98≒6.0 より、管理目標値内として判定

Ⅲ．地球温暖化対策に係る報告

１．2025 年度における電気・燃料等の使用量、温室効果ガス排出量

活動の区分	燃料・焼却物等の種類	使用量等	単位	単位発熱量 (MJ)	排出係数 kg-CO_2/MJ	排出量 kg-CO_2	温暖化係数 CO_2	合計 (CO_2換算)
燃料の使用	原料炭		kg	28.9			1	
	一般炭		kg	26.6			1	
	A 重油		ℓ	39.1			1	
	B 重油		ℓ	40.4			1	
	C 重油		ℓ	41.7			1	
	LPG		kg	50.2			1	
	都市ガス	17,885	Nm^3	45.0	0.0464	37,345	1	37,345
	その他 (廃棄物等)		Kg	42.3			1	
電気事業者から供給された電気の使用	一般電気事業者	2,725,824	kWh		0.419	0(※)	1	0
熱供給事業者から供給された熱の利用			MJ				1	
合計						37,345		37,345

(※)：　2022 年 10 月度より、再生可能エネルギー由来の電力に切り替えたため、
以降の CO_2 排出量は実質”ゼロ”となります。

２．2025 年度の計画達成状況

温室効果ガス	削減目標		排出量		削減率（%）	
	2025 年度	2030 年度	基準年度（2013 年度）	2025 年度	2025 年度	2030 年度
二酸化炭素	37,671	35,825	1,993,722	37,345	98.1	98.1
メタン						
一酸化二窒素						
HFC						
PFC						
六フッ化硫黄						
合計	37,671	35,825	1,993,722	37,345	98.1	98.1

３．目標達成のために講じた措置・対策の達成状況

	分野	項目	細目	目標	実施状況
1	事業所等での節電・燃料使用量の削減	節電	関西電力「おまか Save-Air」	デマンド管理 70%	空調機監視 100%（2023 年 1 月より）
			省電力電灯へ切替	調光LED化	交換随時実施
		燃料使用量の削減	空調機の節電	室温管理 夏季:28℃ 冬季:19℃	実施率 75%
2	環境負荷の少ない燃料の選択	良質燃料への転換	ー	カーボンオフセットされた燃料の使用	2022 年 6 月より導入
3	特定フロン等使用量の削減	代替物質への転換	ー	メンテナンス時 随時	実績無し
		設備更新時に特定フロン非使用設備を導入	ー	新規導入時	導入実績無し
		特定フロン等使用機器廃棄時の適正処理	ー	廃棄時	空調機、分析設備等計 3 台廃棄適正に処理済

Ⅳ．公害防止対策、地球温暖化対策以外の環境保全活動に係る報告

今年度の環境保全活動に係る具体的実施内容

	分野	項目	細目	目標	実施状況
1	再生可能エネルギー導入の推進	グリーン電力の購入		再エネ由来の電力の購入量 100%	100%
		太陽光発電設備の設置・稼働		設置/管理	2 棟に設置済/事業所内の消費電力量の 9.6%を充当

2	自動車対策	クリーンエネルギー自動車の導入（電気自動車・燃料電池自動車等）		管理/追加導入の検討	導入を検討中
		マイカー通勤の抑制		禁止	継続中
		社有車の削減		1台削減	2台増台 社内の状況に併せ最適化を検討
		積載量の適正化		全車両啓蒙	定期便の適正化を実施中
		エコドライブ・アイドリングストップの推進		全社有車啓蒙	啓蒙中
		（取引企業間における）グリーン配送の実施		購入品・出荷品同梱推奨	1社実施継続 (製品部材(帆布)の一括運送)
3	プラスチックに係る資源循環等の推進	プラ製品の設計を環境配慮型（紙・生分解性素材・バイオマス素材・リサイクル素材など環境負荷の低減につながる素材）に転換		対象無し	－
		使い捨てプラ（プラスチック容器包装など）をリデュース		対象無し	－
		排出されるプラを回収・リユース・リサイクル		社内リサイクルの推進	社内リサイクル比率:7.2%
4	事業所等での廃棄物の適正処理・減量	分別回収	紙類の専用収集ボックスの設置	全棟に1箇所設置	全棟設置済
		コピー用紙の使用削減	両面コピーの徹底	啓蒙	概ね実施
			ミスコピー用紙の再利用	再資源化	再資源化:1.86t
		廃棄物発生量の削減	ペーパーレス化の推進	電子化の推進	楽々ワークフローによる電子回覧 :計130業務
			生ごみの適正処理	飛散・腐敗なきこと	適正処理中
			納入業者への梱包削減依頼	納入業者に依頼予定	協力要請実績無し

5	事業所等での再生製品等の使用	グリーン購入の実施	文房具	100%	対象品 100%
			機械器具・備品	新規購入時切替	対象品 100%
			サービス	顧客要請展開	展開実施中
		充電池等の利用		100%	啓蒙中
		再生紙の使用促進	コピー用紙、パンフレット等の再生紙利用	100%	100%
		プリンタトナーカートリッジの再生利用		100%	100%
6	環境負荷の少ない資源，材料，燃料の選択	廃棄の際の環境影響を配慮した材料の選定	処分可能部分の塩素化合物の削減	設計開発時推奨	実施率 約2%
			分解工程の効率化	対象無し	－
7	環境管理システムの充実	ISO14001 の取得		認証維持	認証維持継続 認証期間 2026 年 10 月 26 日
		内部監査の実施		2 回/年	2回実施 （2025 年 6 月，2026 年 2 月）
8	脱炭素経営の推進	TCFD 提言への賛同（SBT 認定の取得）		表明 （検討中）	表明 （検討中）
9	事業所等での節水	節水		2030 年度に 2021 年度比 50%減 (前年度比 8%減)	2021 年度比 17.9%減(前年度比 11.1%減)で達成
10	環境に配慮した施設整備	緑地の整備		随時整備	樹木の維持管理と、花 500 株植栽
11	従業員教育	環境保全に関する社員研修		実施検討	実績無し
		社内報での啓発		実施事項掲示	適時社内掲示板にて啓発
12	地域社会への参画	事業所周辺の清掃活動		1 回/操業日 実施	2 回/日実施 （雨天除く） 実績:計 380 回
		地域の環境保全活動への社員派遣	須磨海岸ビーチクリーン	派遣検討	有志者派遣実施 (23 回実施)
		地域住民への施設見学の実施		1 回/年	2 回 （真野小学校・長田南小学校）